

2024年12月期 第3四半期 機関投資家向け決算説明会

YCPホールディングス（グローバル）リミテッド
2024年11月25日

アジェンダ

- はじめに
- 2024年12月期 第3四半期 業績
- 各事業のご紹介：マネジメントサービス事業
- 各事業のご紹介：プロフェッショナルソリューション事業
- 各事業のご紹介：プリンシパル投資事業
- 2024年12月期 業績予想
- 質疑応答

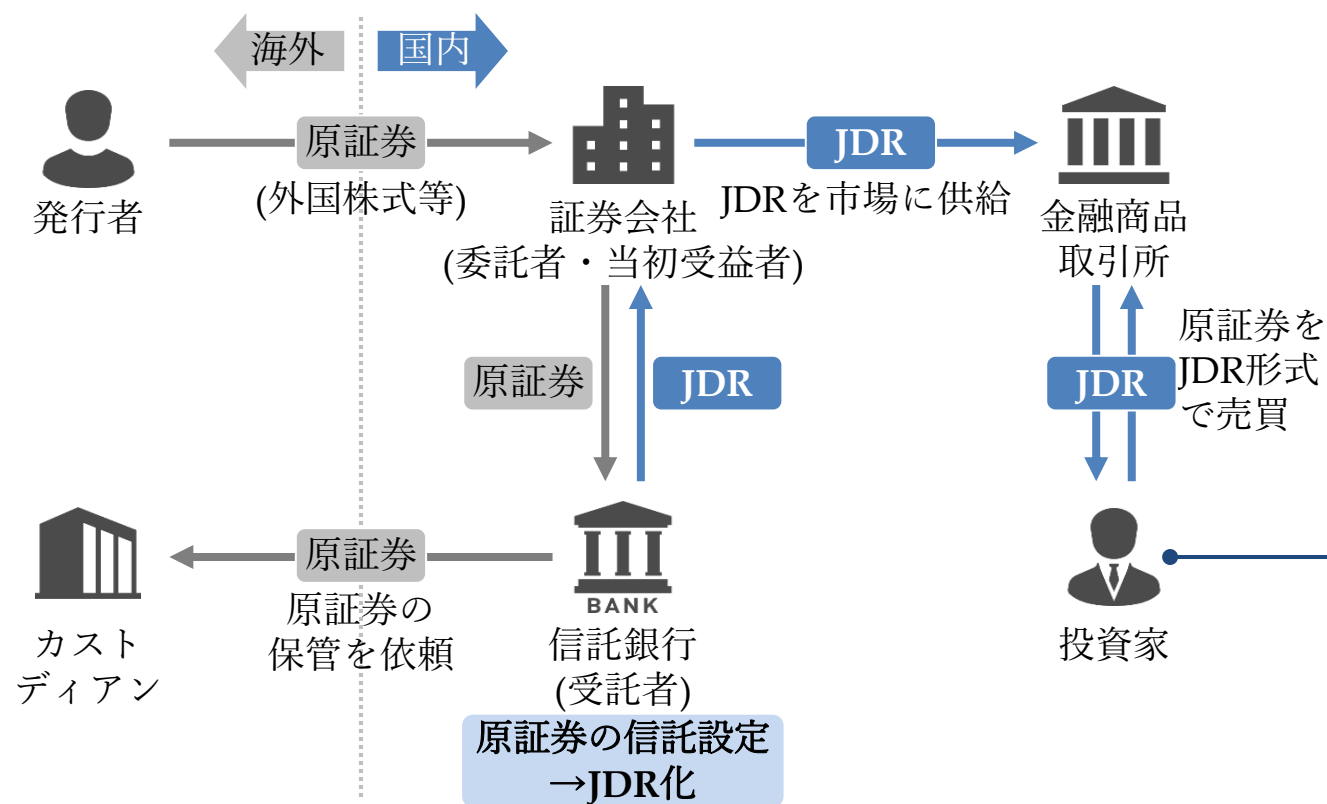
はじめに



はじめに：JDR (日本型預託証券) とは

- 米国におけるADR等を参考に、2007年9月の金融商品取引法改正で導入、2017年9月にJDR銘柄が東証に初上場
- 投資家：国内株式等と同じ取引・税制の適用を受けながら、日本円・日本時間で外国企業への投資が可能になる
- 発行者：取引規模が大きく安定した日本の証券市場を通じて資金調達を行うことができる

JDRの発行スキーム*



JDRのポイント

取引	<ul style="list-style-type: none"> • 全国の証券会社を通じて売買可能 • 特定口座の取引対象となり、外国証券取引口座の開設も不要 • 日本円による決済・分配金受け取り • 税制も国内株式と同様
株主総会	<ul style="list-style-type: none"> • 発行会社の株主はJDR受託者 (信託銀行) となるため、JDR投資家は、株主総会には出席できないが、発行会社が実施するJDR投資家説明会等で対話が可能
議決権行使	<ul style="list-style-type: none"> • JDR投資家は原株式の議決権を直接行使することはできないが、JDR受託者に対して議決権の行使指図を行うことにより、間接的に議決権を行使することが可能

*日本取引所グループホームページ掲載のJDRの発行スキーム (例) より引用。 <https://www.jpx.co.jp/equities/listing-on-tse/new/basic/05.html>

投資参考指標のご案内

指標算出に 使用した株価：	555 円	2024年11月22日現在の東証グロース市場における当社JDRの終値
発行済株式総数：	22.3 百万株	2024年11月22日現在の発行済株式総数
上場JDR数：	21.0 百万口	2024年11月22日現在の上場JDR数 (発行済株式総数のうちJDRの信託設定が行われた株数)
時価総額：	123.6 億円	2024年11月22日現在の終値555円×同日現在の発行済株式総数22,271,292株で算出
予想PER：	12.83 倍	2024年11月22日現在の終値555円÷FY2024通期の予想EPS0.30米ドルで算出
実績PBR：	1.12 倍	2024年11月22日現在の終値555円÷FY2024 Q3の実績BPS3.46米ドルで算出
予想ROE：	8.8 %	FY2024通期の当期利益予想6,744千米ドル÷FY2024 Q3の純資産77,069千米ドルで算出
予想ROA：	5.1 %	FY2024通期の当期利益予想6,744千米ドル÷FY2024 Q3の総資産131,658千米ドルで算出
株主資本比率：	58.5 %	FY2024 Q3の純資産77,069千米ドル÷FY2024 Q3の総資産131,658千米ドルで算出

*日本円への換算は、1ドル = 142.82円 (2024年9月30日の為替レート) により計算

会社概要

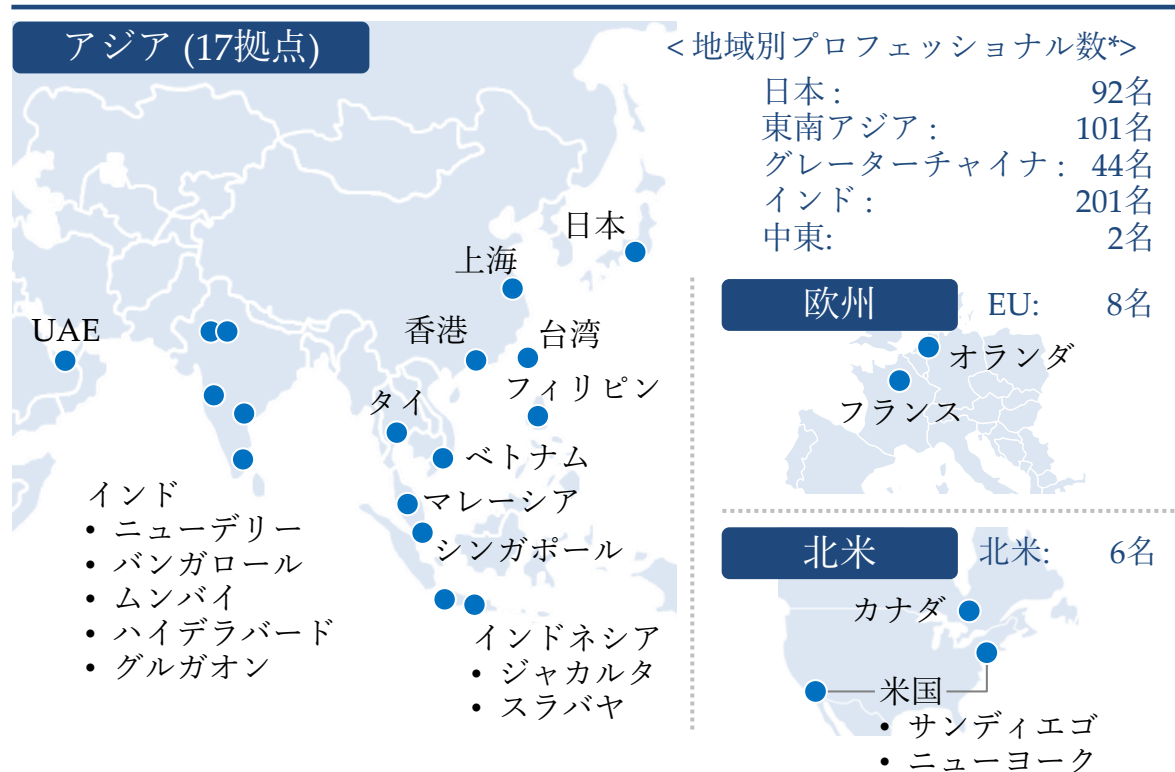
YCPホールディングスは、2011年8月創業の株式会社ヤマトキャピタルパートナーズ(現・株式会社YCP Japan)にて事業を開始し、国際色豊かな組織を実現するため、2014年よりグループの社名をYCPに改めると共に香港を拠点とするホールディングス化を実施。2021年、シンガポールにグループ統括機能を担う当社(YCP Holdings (Global) Limited)を設立し、東京証券取引所マザーズ(現・グロース)市場に上場

YCP概要

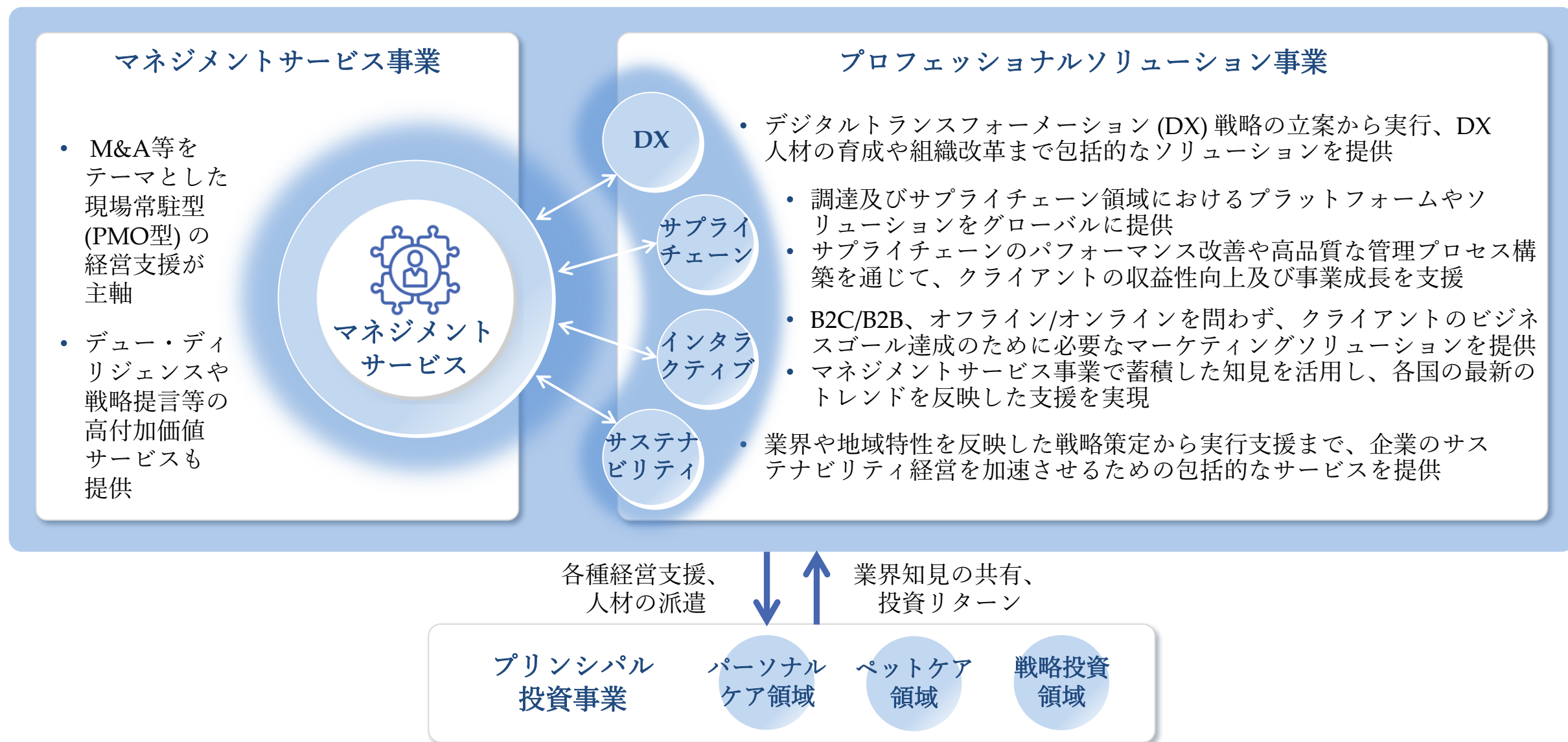
持株会社商号	YCP Holdings (Global) Limited (東京証券取引所グロース市場: 9257)
持株会社住所	20 Collyer Quay #12-06, 20 Collyer Quay, Singapore
持株会社資本金	44,926,326米ドル
グループ事業	1. マネジメントサービス事業 2. プロフェッショナルソリューション事業 3. プリンシパル投資事業
グループ設立	2011年8月
グループ代表者	石田 裕樹
グループ社員数*	プロフェッショナル数: 454名 投資先を含む総社員数: 752名

*2024年9月30日現在。プロフェッショナル数は、プリンシパル投資事業の投資先社員数を除いた数字

グローバル拠点

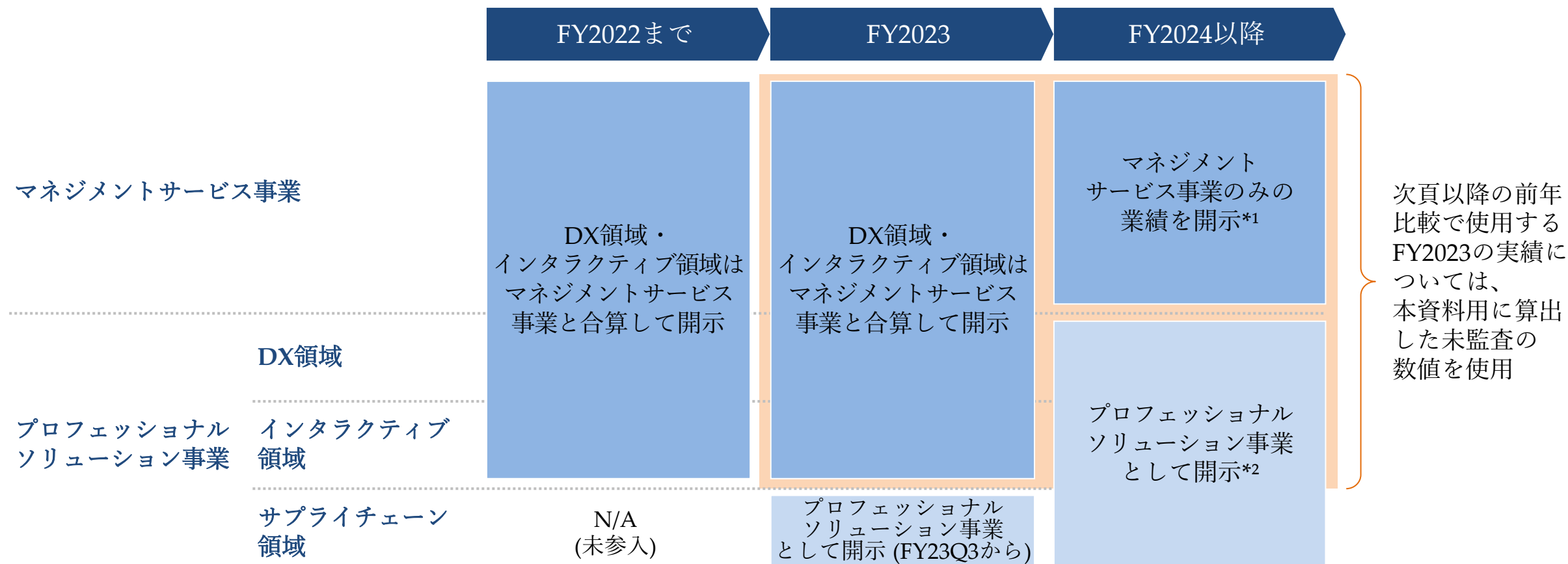


事業概要及び当社グループの報告セグメント



決算短信における報告セグメントの変更について

プロフェッショナルソリューション事業のうち、比較的事業規模の小さい領域 (DX・インタラクティブ) はこれまでマネジメントサービス事業に合算して開示していたが、業容拡大に伴いFY2024以降は、サプライチェーン領域とともに全3領域をプロフェッショナルソリューション事業として開示する



*1: 決算短信とは異なり、本決算説明資料では前年同期との比較を目的に、FY23におけるマネジメントサービス事業の業績は、DX・インタラクティブ領域の業績を除外した数値 (未監査) を使用

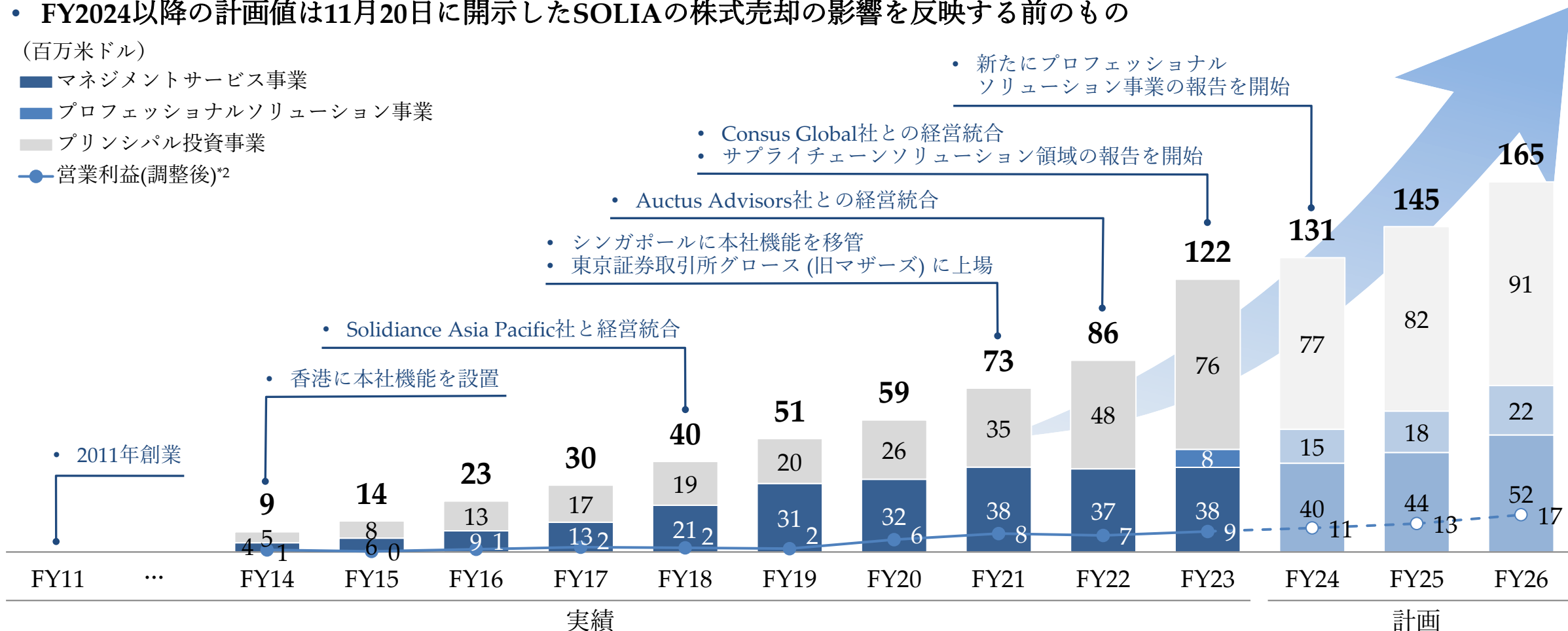
*2: 決算短信とは異なり、本決算説明資料では前年同期との比較を目的に、FY23におけるプロフェッショナルソリューション事業の業績は、マネジメントサービス事業と合算されていたDX・インタラクティブ領域の業績 (未監査) を使用

業績推移

- FY2023通期において、売上121.8百万米ドル (174.0億円*1)、営業利益9.1百万米ドル (13.0億円*1) を達成
- 直近5カ年の年平均成長率は24.7%。FY2024は売上131.4百万米ドル (187.7億円*1) を計画
- FY2024以降の計画値は11月20日に開示したSOLIAの株式売却の影響を反映する前のもの

(百万米ドル)

- マネジメントサービス事業
- プロフェッショナルソリューション事業
- プリンシパル投資事業
- 営業利益(調整後)*2



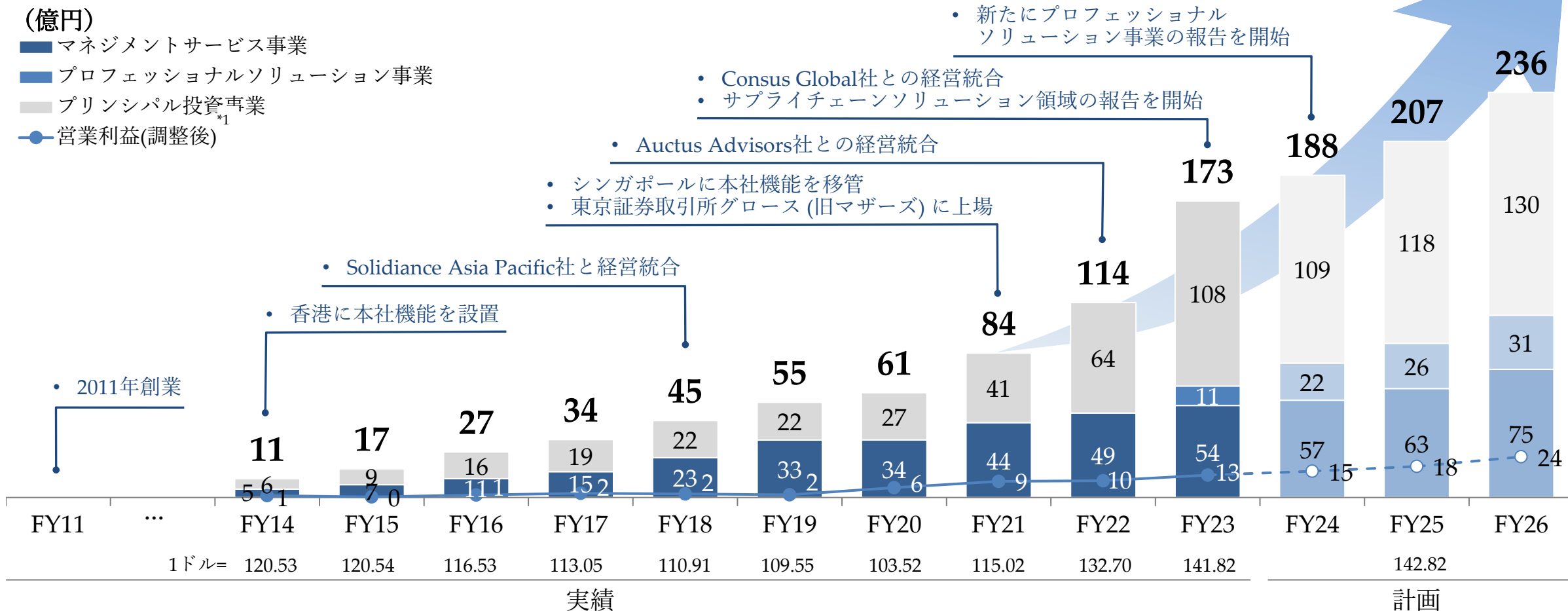
*1: 日本円への換算は、1ドル=142.82円 (2024年9月30日の為替レート) により計算

*2: プリンシパル投資における一過性の非資金取引 (子会社及び事業の売却損益や金融資産の評価損益、バーゲン・パーチェスによる利得等) を除外した営業利益

*3: FY18以前の情報は上場前の参考値

円ベースによる業績推移

- 前頁のグラフを各会計年度末（計画値については直近四半期末）のドル円レートで日本円に換算した数値は以下のとおり
- FY2024以降の計画値は11月20日に開示したSOLIAの株式売却の影響を反映する前のもの



*1: プリンシパル投資における一過性の非資金取引（子会社及び事業の売却損益や金融資産の評価損益、バーゲン・パーチェスによる利得等）を除外した営業利益

*2: FY18以前の情報は上場前の参考値

2024年12月期 第3四半期 業績



FY2024 Q3累計業績ハイライト

FY2024 Q3累計業績

売上収益	前年対比	通期予想 着地見通し*2
94.1 百万米ドル (134.5億円*1)	103.9%	97.5%

営業利益	前年対比	通期予想 着地見通し*2
5.6 百万米ドル (8.0億円*1)	77.0%	81.9%

四半期利益	前年対比	通期予想 着地見通し*2
3.1 百万米ドル (4.4億円*1)	66.0%	76.5%

*1：日本円への換算は、1ドル=142.82円(2024年9月30日の為替レート)により計算
*2：Q3までの実績値とQ4の予想値を合算し、短信で開示している連結業績予想と比較して算出

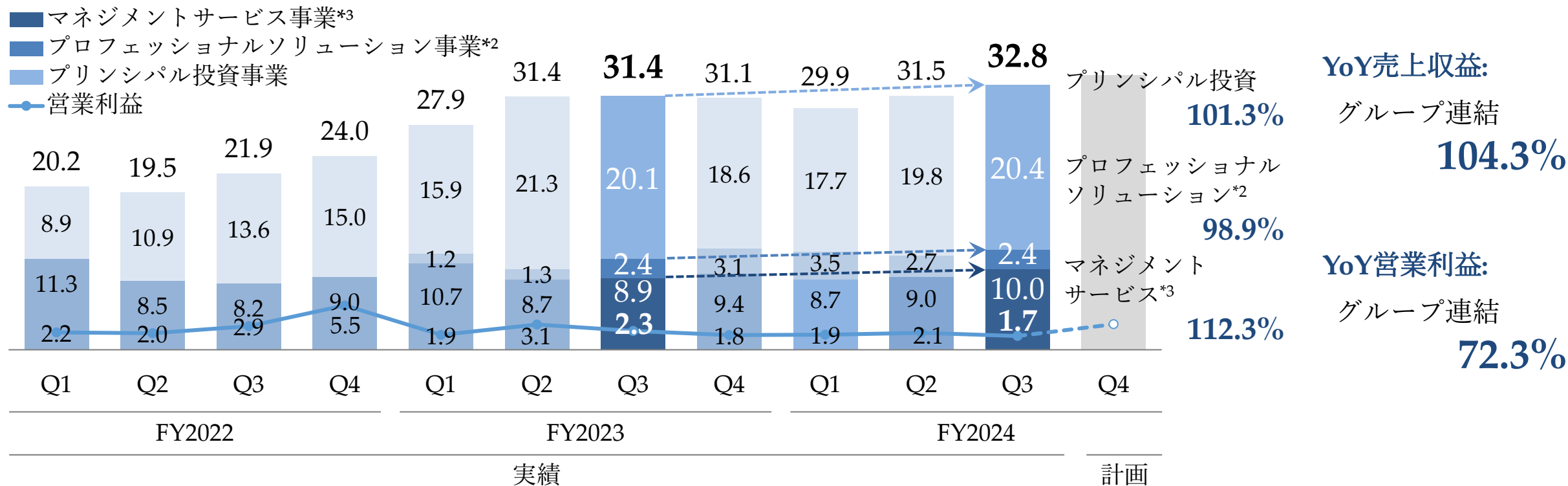
ハイライト

- マネジメントサービス事業においては、特にインド、東南アジア及び欧州地域の業績が拡大した一方で、インド地域の取引先2社について貸倒引当金を計上した影響及び中国の景気低迷と長期化する円安の影響により、Q3累積での売上収益は前年対比85.7%、セグメント利益は前年対比64.0%と、軟調だった上半期の巻き返しには至らなかった
- 一昨年から取り組んできたプロフェッショナルソリューション事業への参画、事業構造の転換により、新たに8.5百万米ドル(12.1億円*1)の売上収益、0.6百万米ドル(0.9億円*1)の営業利益を創出
- プリンシパル投資事業では、パーソナルケア領域及びペットケア領域の業績が堅調に推移した一方で、戦略投資領域におけるレストランのリブランディング及びペットケア領域における病院の移転・譲渡に係る費用及び損失が発生した影響により、売上収益が前年対比101.1%、セグメント利益が前年対比94.2%となった
なお、11月20日に開示したSOLIAの株式売却の影響はQ4以降に反映される見込み
- 結果として、グループ連結売上収益は前年対比103.9%、グループ連結営業利益は前年対比77.0%となった

FY2024 Q3 グループ連結業績

- FY2024 Q3は、マネジメントサービス事業における案件受注が件数・金額ベースの両面で回復するとともに、プリンシパル投資事業の業績が堅調に推移した一方で、引き続き円安や中国の景気減速等の影響を受けたことにより、**売上収益32.8百万米ドル (46.8億円*1)**、**営業利益1.7百万米ドル (2.4億円*1)** で着地

売上収益・営業利益推移 (百万米ドル)



*1: 日本円への換算は、1ドル=142.82円 (2024年9月30日の為替レート) により計算

*2: プロフェッショナルソリューション事業は、サプライチェーン領域・DX領域・インタラクティブ領域の3領域の合計の数値

*3: 本決算説明資料では前年同期との比較を目的に、FY23におけるマネジメントサービス事業の業績は、DX・インタラクティブ領域の業績を除外した数値 (未監査) を使用

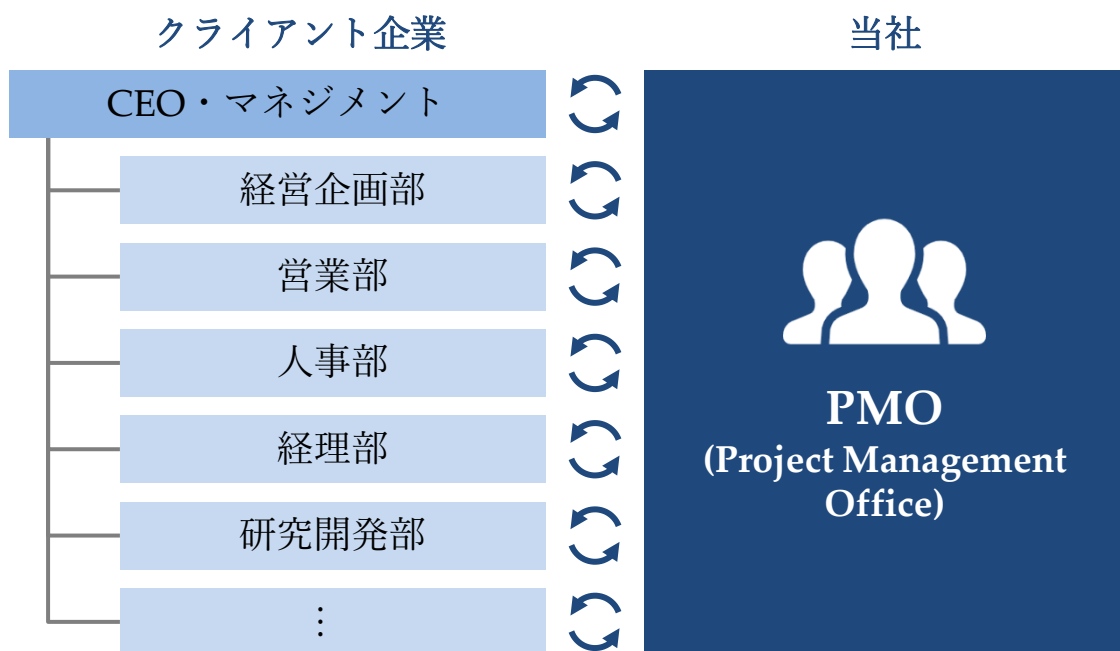
各事業のご紹介：
マネジメントサービス事業



マネジメントサービス事業のご紹介

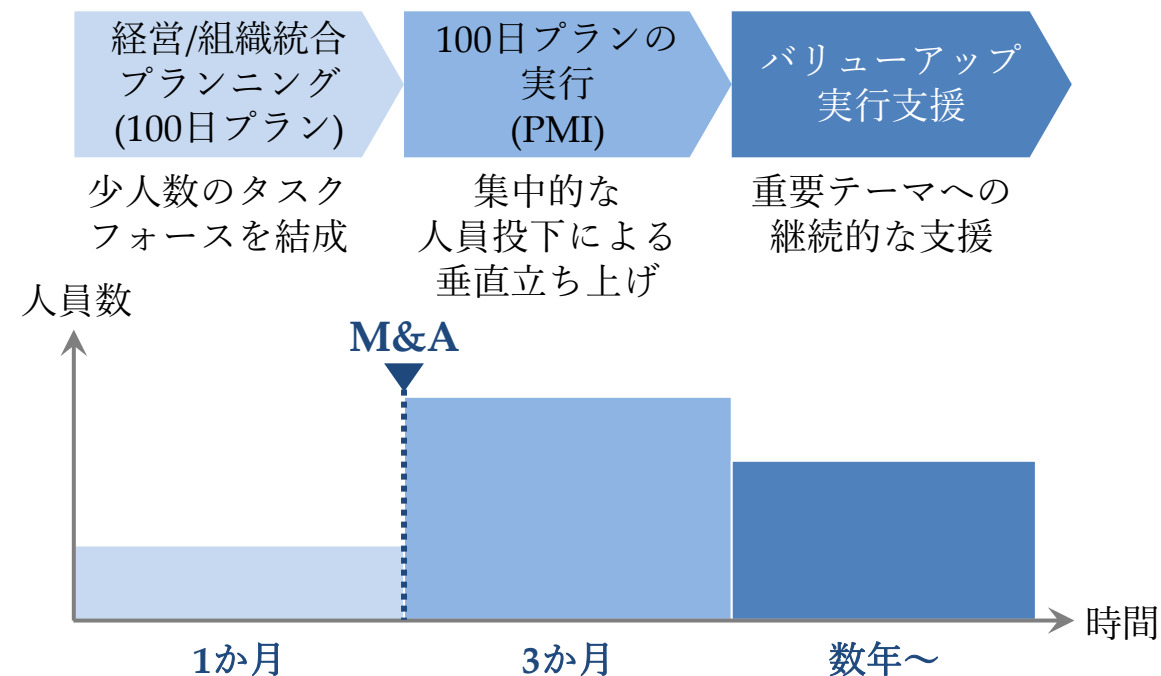
- YCP Professional、YCP Auctusの2ブランドでサービスを展開
- M&AやDX導入をテーマにした**現場常駐型 (PMO型)** の経営支援サービスを**アジア全域で提供**
- 企業変革の実現までクライアントと伴走するため、**長期的な案件の受注が可能**

PMO (Project Management Office) とは



M&AやDX導入など大きな企業変革を伴う際に、部門を横断して柔軟に実行支援をサポートする特務組織

M&AにおけるPMO支援のイメージ

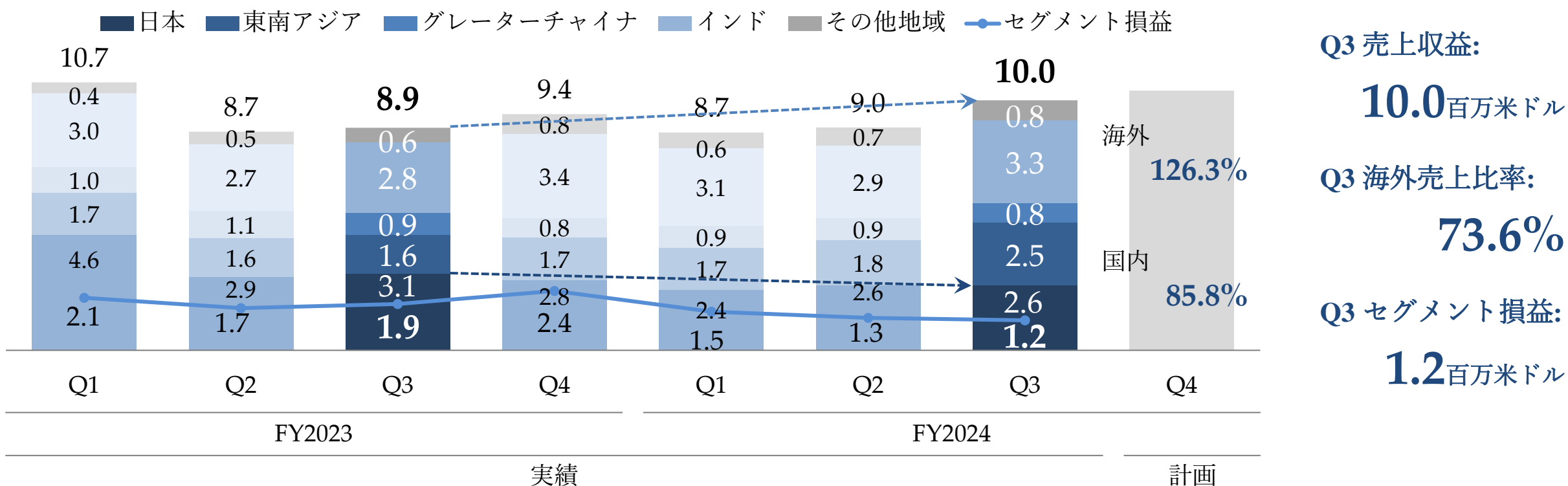


M&A実行の1か月前から支援を開始し、PMOとして長期に渡って常駐型での支援を継続

マネジメントサービス事業の業績

- FY2024 Q3は売上収益10.0百万米ドル (14.3億円^{*1})、セグメント損益1.2百万米ドル (1.7億円^{*1}) で着地
- インド、東南アジア及び欧州地域の貢献が大きかったものの、インド地域で0.6百万米ドル(0.9億円^{*})の貸倒引当金を計上した影響及び利益貢献の大きい日本地域が円安の影響を受けたことにより、事業部全体では**売上収益がYoY112.3%**、**セグメント損益がYoY63.6%**となった

業績推移^{*2} (百万米ドル)



^{*1}: 日本円への換算は、1ドル=142.82円(2024年9月30日の為替レート)により計算

^{*2}: 決算短信とは異なり、本決算説明資料では前年同期との比較を目的に、FY23におけるマネジメントサービス事業の業績は、DX・インタラクティブ領域の業績を除外した数値(未監査)を使用

各事業のご紹介：

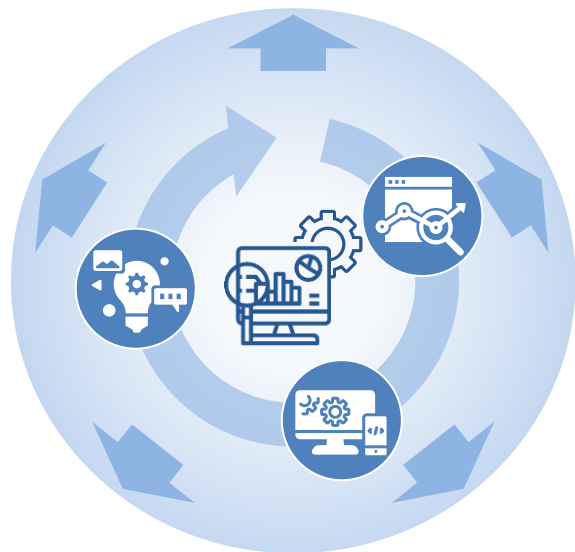
プロフェッショナルソリューション事業



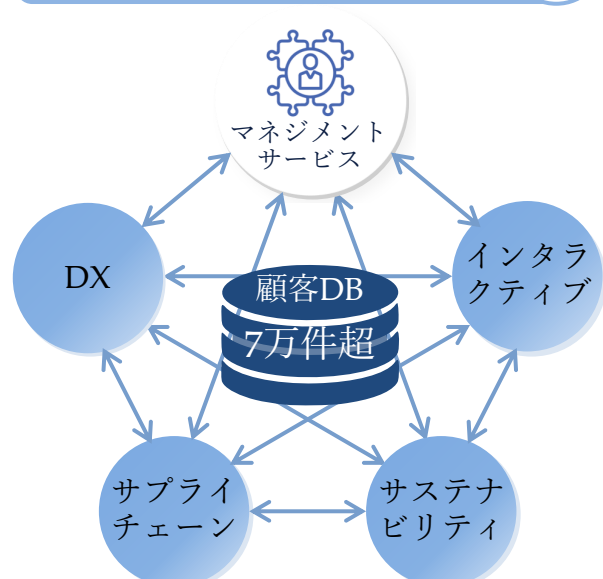
プロフェッショナルソリューション事業のご紹介

- **DXやサプライチェーン、サステナビリティ等**、クライアントから引き合いの多い領域に**特化した事業部を新設**
- 専門的な知見をソリューションとして**定型化し**、**マネジメントサービスの顧客基盤**を活用した**事業拡大を狙う**

グループとしての成長戦略



ソリューションの定型化・汎用化によるプロダクト開発を行い、スケーラビリティを追求



世界22拠点において、7万件超の既存顧客データベースも含めた事業部間での相互送客による、クロスセル・アップセル

ソリューションサービス各領域の概要

デジタルトランスフォーメーション (DXD) クライアントのデジタル企業変革、デジタル新規事業の立案

インタラクティブソリューション (ISD) 認知・集客強化からクロスボーダーでのECプラットフォームの提供に至る一連のワンストップサービスの提供

サプライチェーンソリューション (SCD) 調達安定化・コスト削減、業務効率化・DX化など、サプライチェーン領域におけるソリューション提供

サステナビリティソリューション (SSD) 企業のサステナビリティ経営を加速させるための、業界や地域特性を反映した包括的なサービスを提供

2022年
5月新設

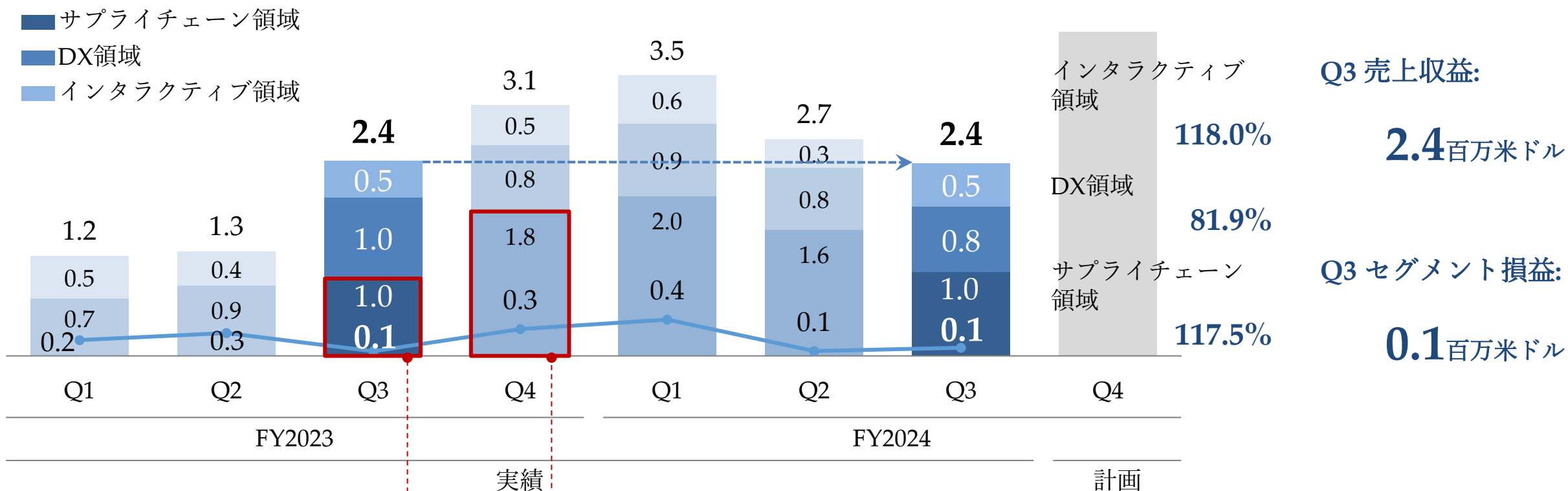
2023年
4月新設

2024年
10月新設

プロフェッショナルソリューション事業の業績

- 2023年8月、調達・購買の費用削減やサプライチェーンの再構築に特化した「コンサスグローバル」を完全子会社化し、サプライチェーン領域に進出。従前より立ち上げを進めていたDX領域及びインタラクティブ領域と合わせて**今期から「プロフェッショナルソリューション事業」**として報告を開始
- 売上収益2.4百万米ドル (3.4億円*)、セグメント損益0.1百万米ドル (0.1億円*)**で着地

業績推移* (百万米ドル)



注) FY2023のQ3/Q4においては、赤枠のサプライチェーン領域のみをソリューション事業として開示
FY2023におけるDX領域・インタラクティブ領域の業績は参考値 (未監査)

*日本円への換算は、1ドル = 142.82円 (2024年9月30日の為替レート) により計算

各事業のご紹介：
プリンシパル投資事業



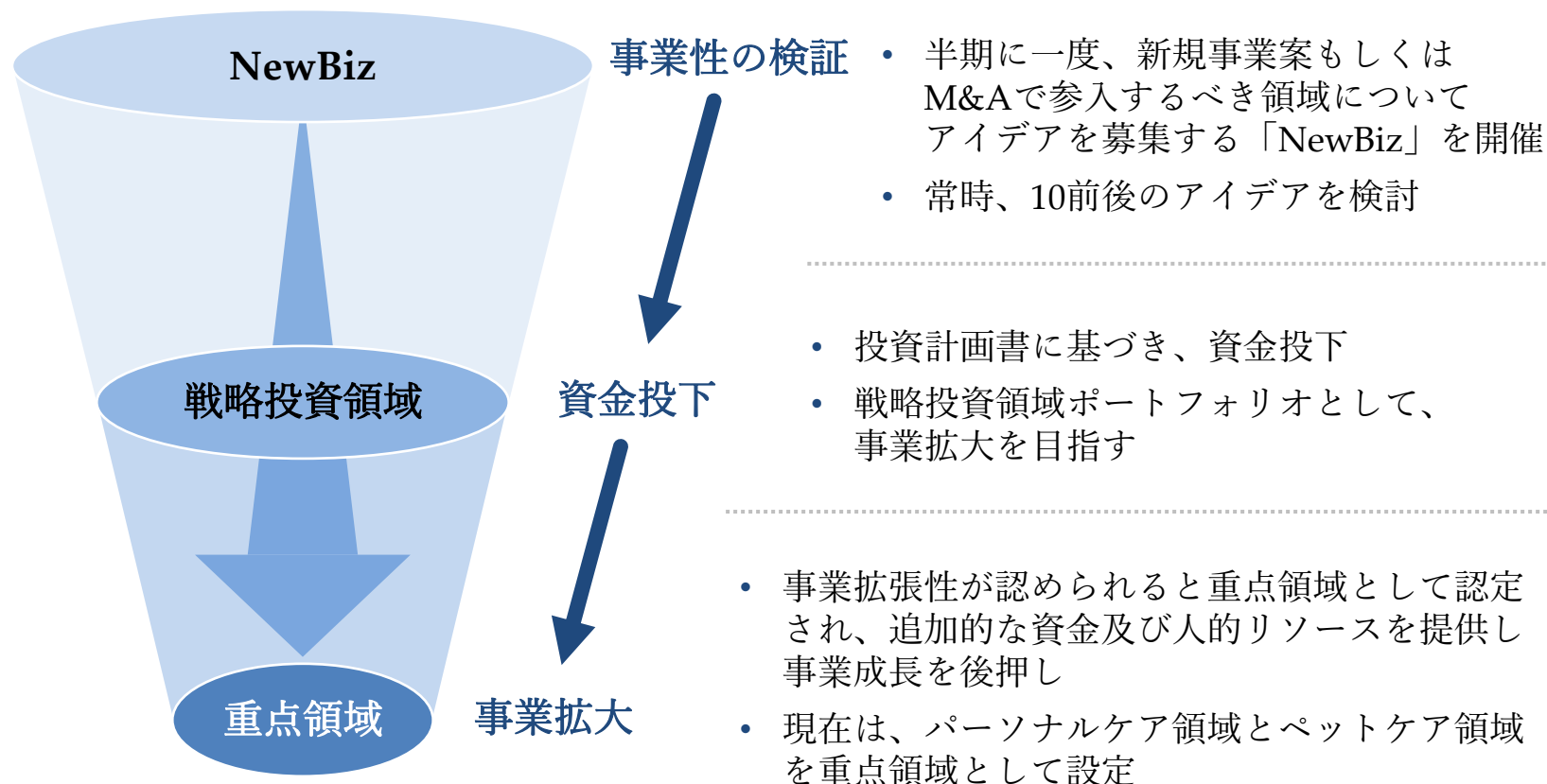
プリンシパル投資とは

- マネジメントサービス事業を通じて培った経営人材のプラットフォームを活用し、**中小/新興企業に対して自己資金を投下**
- 現在は①**パーソナルケア**、②**ペットケア**、③**戦略投資の3領域**で業績を開示

投資要件

1. 売上100百万米ドル以上の事業規模が見込まれる
2. グループの人材プラットフォームを活用しグローバル展開が可能
3. 投資規模が借入を含めて20百万米ドル以下
4. 30%以上のIRR (内部収益率)
5. グループのプロフェッショナルにとって、「Strive for Growth」を実現できる良い学びの機会

プリンシパル投資事業の立ち上げから拡大までの流れ



① パーソナルケア領域のご紹介

- ・ 自社で開発したパーソナルケア・ブランドを、**オンラインで消費者に直接販売**（D2Cモデル）
- ・ 当社のグローバルプラットフォームを活かし、**アジア各国（特に中国）へ積極展開**

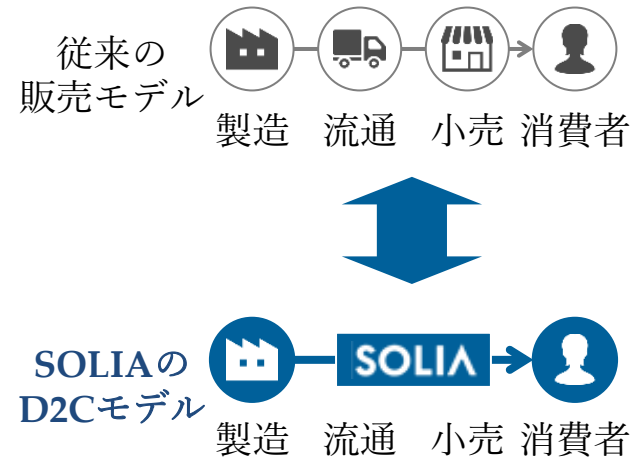
主要ブランド



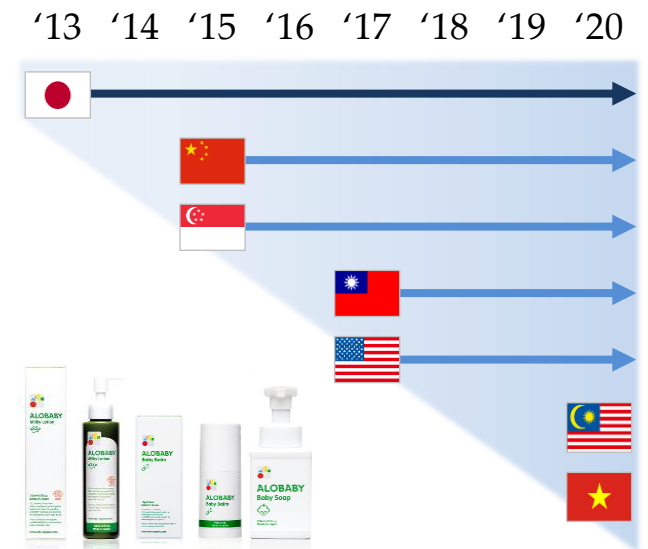
事業戦略



SOLIAのD2Cモデル



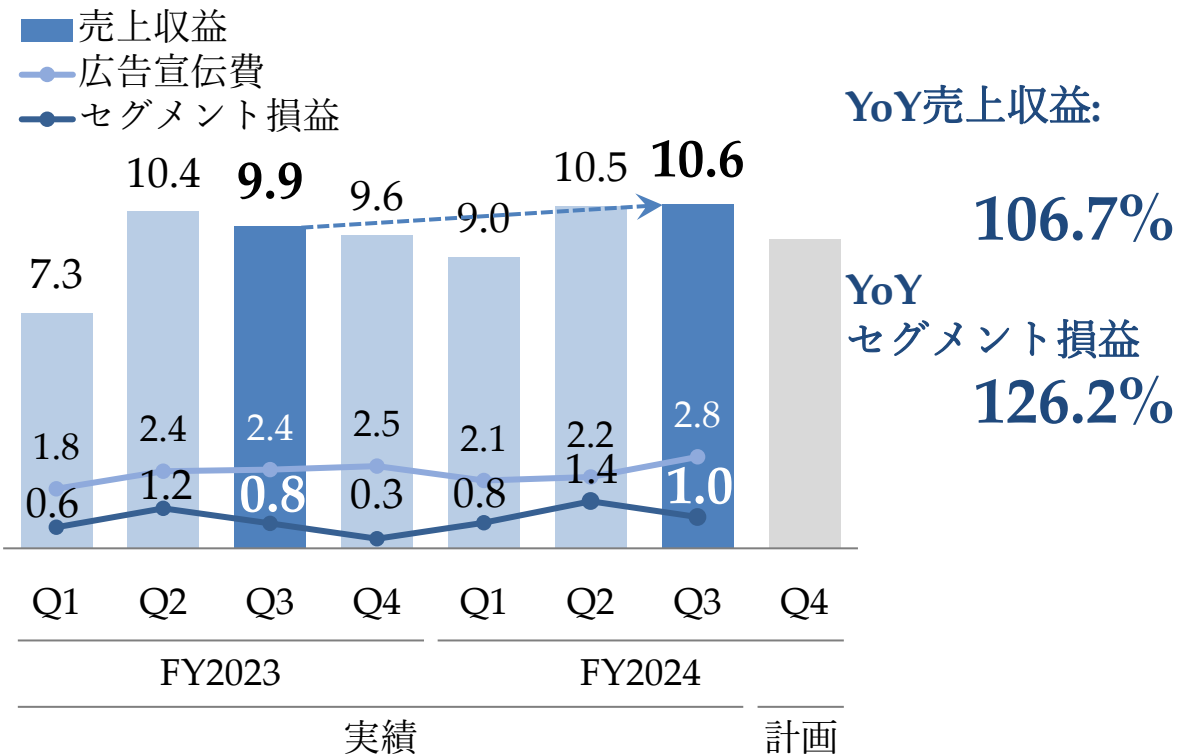
ALOBABYの海外展開の経緯



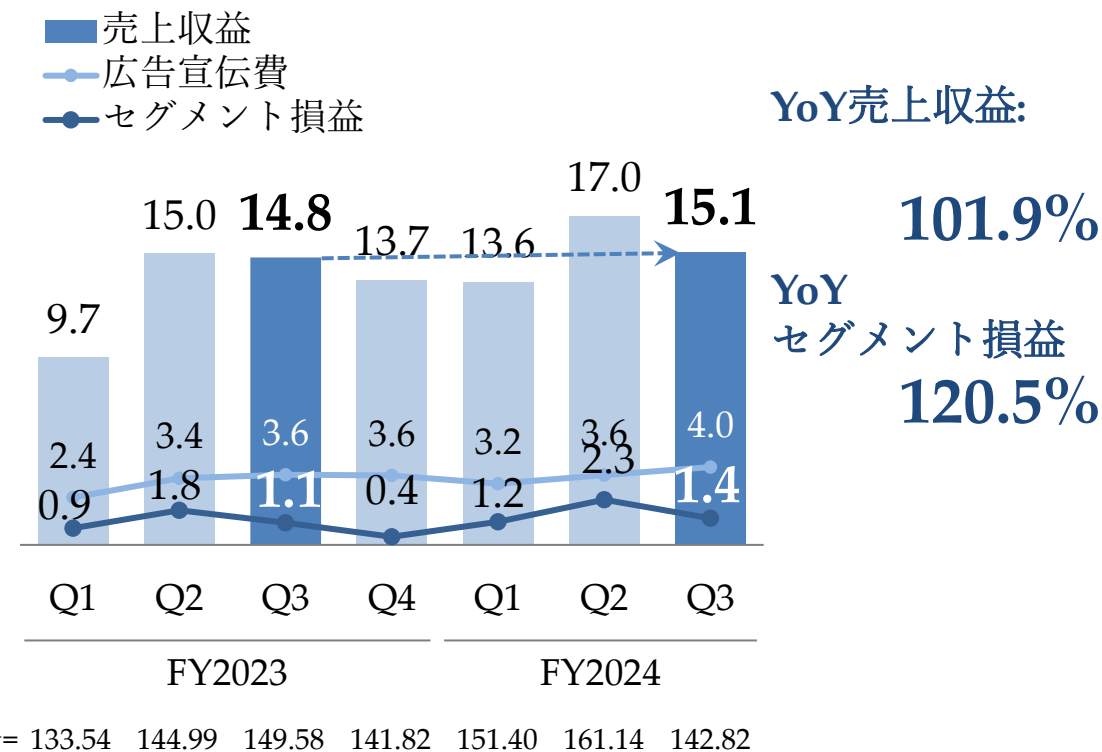
① パーソナルケア領域の業績

- FY2024 Q3は売上収益10.6百万米ドル (15.1億円*)、セグメント損益1.0百万米ドル (1.4億円*) で着地
- 乳幼児向け「ALOBABY」、男性向け「AMBiQUE」の2ブランドが順調に拡大し、増収増益を実現

業績推移 (百万米ドル)



(参考) 現地通貨ベースでの業績推移* (億円)



* 日本円への換算は、各期末時点の米ドルと円の為替レートを適用

株式会社SOLIAの売却について

- 2024年11月20日、当社が保有する株式会社SOLIAの株式の全てを40.5億円で第三者に売却する株式譲渡契約を締結。株式譲渡実行日は2024年12月25日を予定

譲渡の概要

保有株式数	1,000株
譲渡株式数	1,000株
1株当たり譲渡価格	405万円
売却総額	40.5億円
当初の投資金額	0.1億円
契約締結日	2024年11月20日
株式譲渡実行日（予定）	2024年12月25日

② ペットケア領域のご紹介

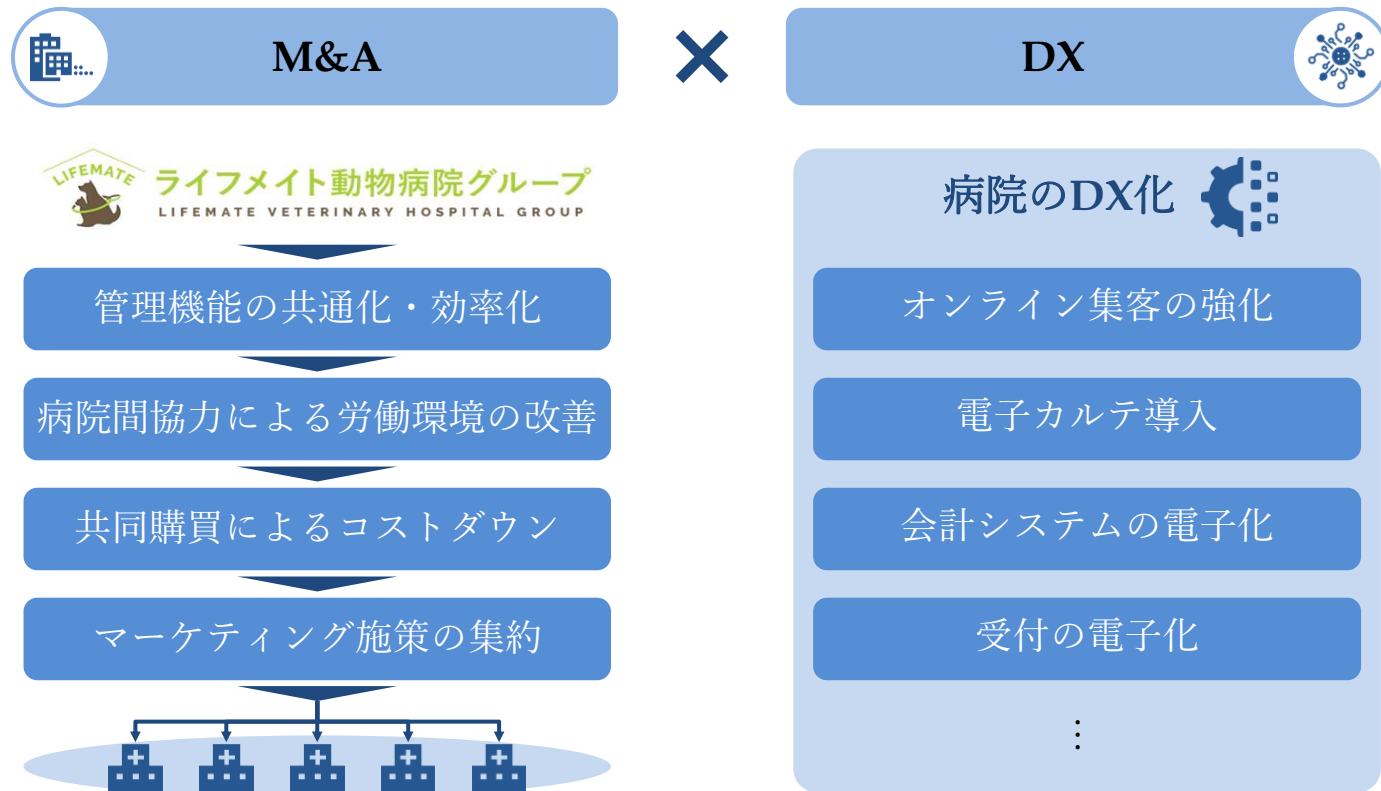
- 事業承継を通じた動物病院の**グループ化**と**DX化**を推進し、事業のスケールアップを目指す
- 現在、高度医療病院を4施設、一次診療を担う動物病院を6施設と、**計10病院**を所有、運営している

動物病院の運営



事業承継による複数の動物病院をグループ化。現在は、関東及び北海道において10病院を運営しており、加えて常時複数のM&A案件を検討している

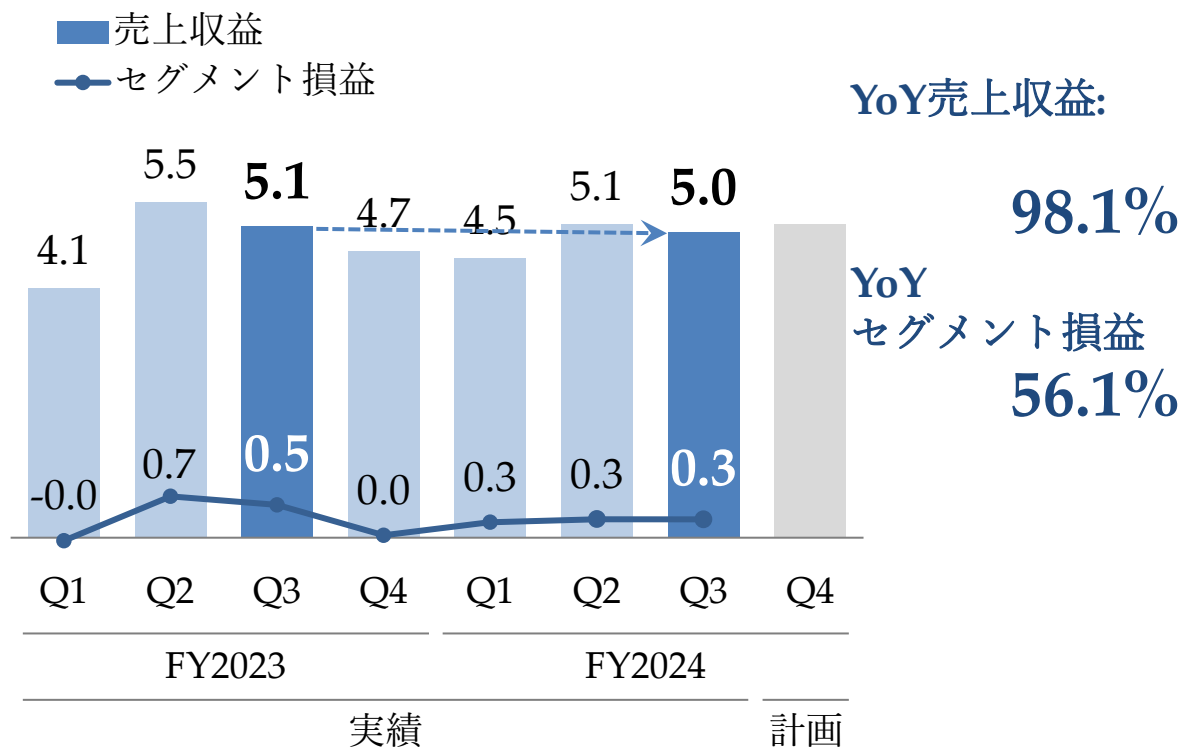
事業戦略



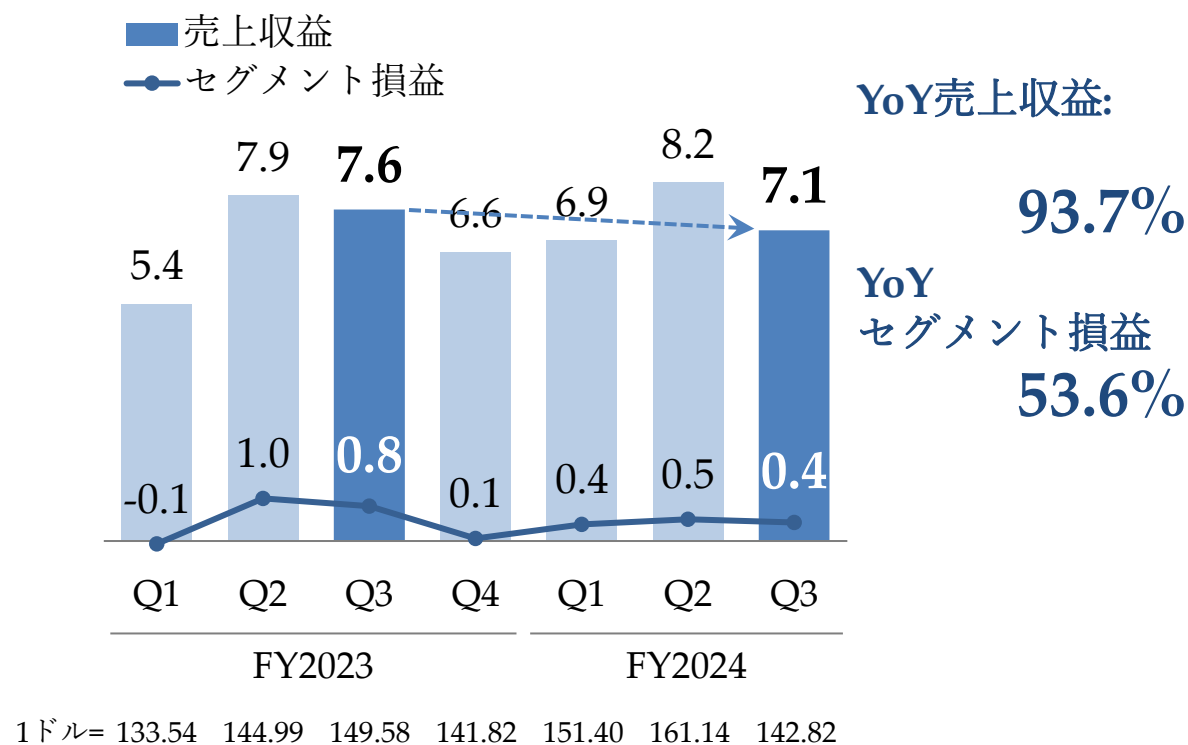
② ペットケア領域の業績

- FY2024 Q3は売上収益5.0百万米ドル (7.1億円*)、セグメント損益0.3百万米ドル (0.4億円*) で着地
- 前年と同水準の売上を実現した一方で、東京都練馬区で進行中の病院移転計画に関する一時費用及び東京都北区で運営する病院の事業譲渡に伴う損失の影響により減益となった。

業績推移 (百万米ドル)



(参考) 現地通貨ベースでの業績推移* (億円)



* 日本円への換算は、各期末時点の米ドルと円の為替レートを適用

③ 戦略投資領域のご紹介

- 将来の重点領域となりうる分野を「戦略投資領域」と位置づけ、積極的に投資を実行
北海道における海鮮料理店、香港・シンガポールにおける日本食レストラン、シニア向けサービス等を展開

飲食領域



GO Food



海味
はちきょう



「食を通じて、世界中の人々により多くの笑顔届けたい」というミッションのもと、調理プロセスの最適化、徹底的なオペレーションの効率化を行い、ハイクオリティな日本食ブランドを海外へ展開

シニア領域

武蔵野御廟

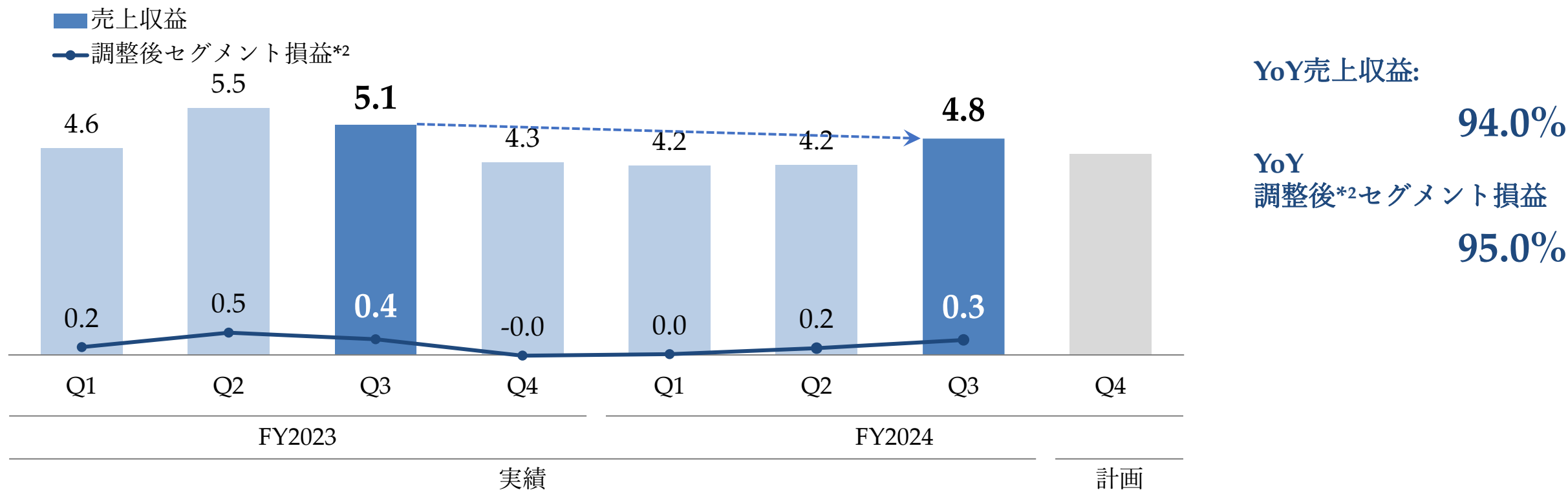


管理不要・後継者不要・宗派不問の自動搬送式納骨堂の販売事業を展開

③ 戦略投資領域の業績

- FY2024 Q3は、中国の景気減速の影響により香港及びシンガポールでの投資先が軟調に推移したことから売上収益4.8百万米ドル (6.9億円*1)、調整後*2セグメント損益0.3百万米ドル (0.4億円*1) で着地

業績推移 (百万米ドル)



*1: 日本円への換算は、1ドル = 142.82円 (2024年9月30日の為替レート) により計算

*2: 調整後セグメント損益 = 子会社及び事業の売却損益や金融資産の評価損益、バークゲン・パーチェスによる利得など、本業以外の活動による一過性の非資金取引を除外したセグメント損益

2024年12月期 業績予想

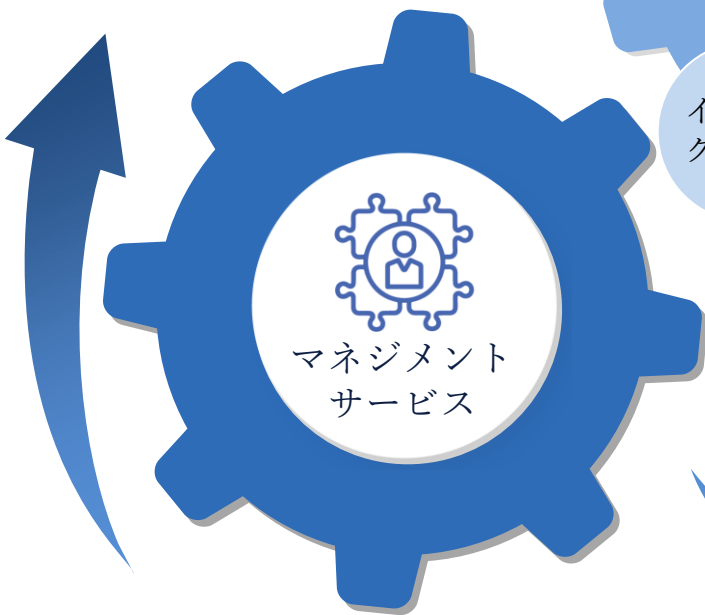


グループ全体の成長戦略

グループの根幹をなすマネジメントサービス事業のオーガニックな成長と並行して、蓄積した知見をプロフェッショナルソリューション事業やプリンシパル投資事業に還元、3事業を一体として成長を実現する好循環を生み出す

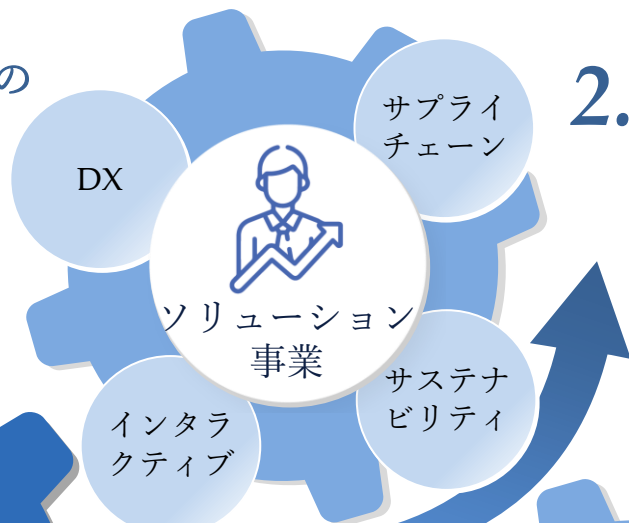
1. マネジメントサービス事業のオーガニック成長

人員体制の継続的な増強を図り、国内外で需要を捉えながら、**知見・ネットワークを蓄積**



2. 周辺領域におけるプロフェッショナルソリューション事業への拡大

蓄えた知見を活用し、クライアントの経営課題解決に向けた拡張性の高い**ソリューションを開発し、グループ全体の成長をけん引**



3. プリンシパル投資事業によるグループの成長加速

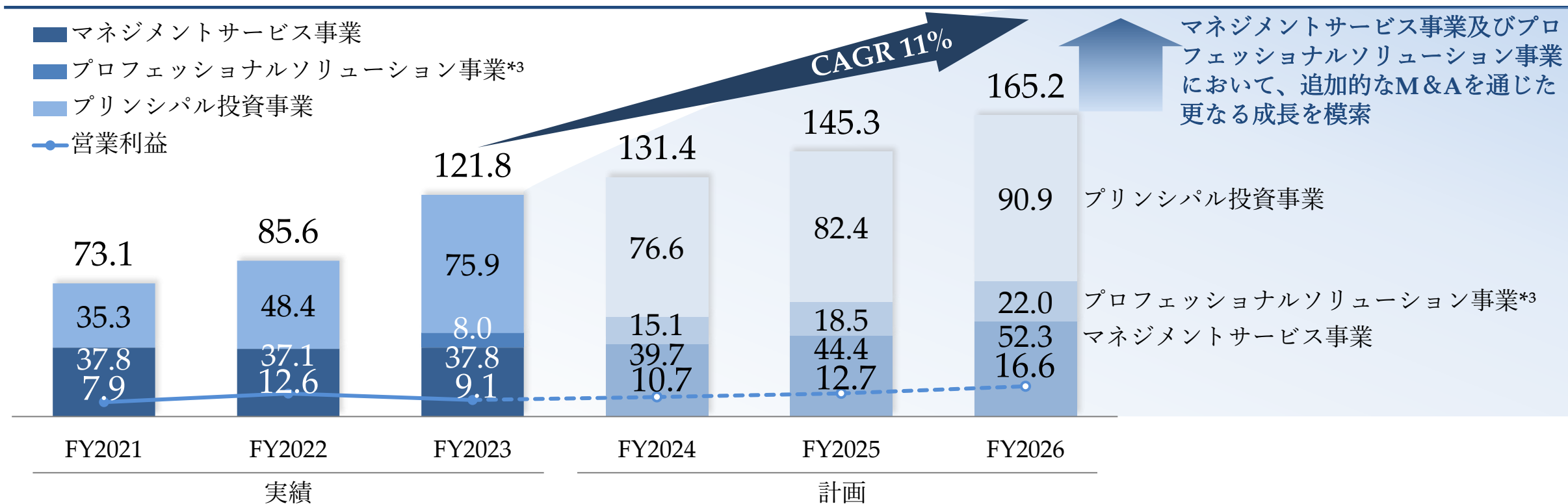
当社グループのネットワークを活かし、アジア全域で**新たな投資テーマを発掘**、将来的な投資先の**上場や売却を通じて資金の最大化**を図る



2024年12月期 グループ連結業績予想

- FY2026までにオーガニック成長だけで売上収益165.2百万米ドル (235.9億円*1)、営業利益16.6百万米ドル (23.7億円*1) を実現
- 上記数値には織り込んでいないM&Aも積極的に検討し、より一層の業績拡大を目指す
- なお、FY2023での減益は、FY2022に計上したアイペット株TOBに係る一過性の利益貢献*2が要因

売上収益・営業利益推移 (百万米ドル)



*1: 日本円への換算は、1ドル=142.82円(2024年9月30日の為替レート)により計算

*2: 保有するアイペット株の公開買い付け応募による「その他の収益及び利得」4.9百万米ドル、及び本公開買い付けに関連する費用として「一般管理費」-1.2百万米ドルをFY2022で計上

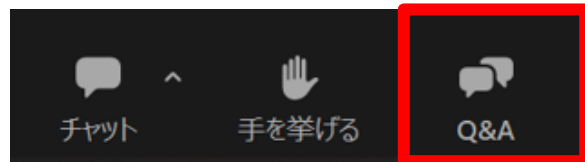
*3: 事業規模の小さいプロフェッショナルソリューション事業部の一部領域は、マネジメントサービス事業に合算して開示予定

質疑応答



ご質問方法 (ログミーIR Liveからご参加の方)

■ テキスト



「Q&A」を押下ください



Q&A入力画面が表示されます



質問をご記入の上、「送信」を押下ください

IRニュースレターのご案内

当社グループの最新IR情報をお届けいたします。

ぜひ、当社ホームページ (<https://ycp.com/ja>) の「IRトップ」ページから
ご登録ください。

IRトップページへのURLリンク：

<https://ycp.com/ja/investor-relations/ir-top>

IRニュースレターのご購読はこちらから

YCP Holdingsの投資家向けレポートや最新情報をお届けします。

氏名

メールアドレス

購読する →

当社グループは、個人情報の保護に配慮しています。詳細は[プライバシーポリシー](#)をご確認ください。

